



2021年6月13日



GR 86/BRZレース プロフェッショナルシリーズ第3戦

車両変更で臨んだ第3戦は、
予選で苦戦するも決勝で鮮やかに挽回。
10ポジションアップに成功！

オートポリス(大分県)

晴れ 10周 (27台)

中山雄一 予選 25番手 / 決勝 16位

チーフエンジニア:

高橋 雄大

チーフメカニック:

清水修

8大会・全11戦で開催される、GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズに IBARAKI TOYOPET RACING TEAM は、「茨城トヨペット GR つくば 86R」で中山雄一選手を擁して挑む。第3大会は、今年初めて本州を離れ、九州のオートポリスが舞台である。

ここまでの2戦、決勝レースでは確実に順位を上げてくる中山選手ではあったが、逆に言えば予選の順位が今ひとつ。その原因として車両のパフォーマンス不足があったことから、チームは熟慮の末に、以前チームが使用していたマシンを「お蔵出し」して、比較テストを実施。その結果マシンは入れ替えられることとなった。本来の実力を発揮することとなった中山選手は、木曜日からはじめた練習も好調にこなしていく。最終チェックとなる土曜日の専有走行で行なった予選シミュレーションでは、「引っかかってしまいました」と語りながらも2分12秒908をマーク。その後の後、再度かけたアタックにおいて2分12秒713にまで短縮を果たす。

しかし、その一方で、ミッションの不具合も訴えていたこともあり、急きょミッションを交換。慣らしもできない、まさにぶっつけ本番状態となった予選において、中山選手は2分13秒631を記して、25番手につけることとなった。

予選までなんとかドライコンディションはキープされていたが、決勝を間近に控えた段階で、ついに雨が！ウェットコンディションを中山選手は得意とするだけに、願ったり叶ったりの状態となったかと思われたものの、フォーメーションラップを限りにピタリとやんでしまう。それでもスタートを決めた中山選手は1コーナーまでに1台をかわし、さらにオープニングラップのうちに「茨城トヨペット GR つくば 86R」を22番手に押し上げる。その後もオーバーテイクを重ね続け、最終ラップの1コーナーでも1台をパス。17位でゴールし、さらにペナルティによる先着選手の後退により、16位という結果を得ることとなった。

次回、SUGO での第4戦は中山選手のスケジュールの都合で欠場となるも、今回の追い上げでチームの士気はさらに向上。今後さらなる活躍にご期待いただきたい！



「スタートで1台抜いて1周目の混乱を避けつつ、ぶつからないように走ってバトルしている間を漁夫の利みたいな感じで、無理せず抜いていきました。最後は温存していたタイヤが余っていたので、みんなよりペースが良くて、あと10周ぐらいやれば、もっと行けましたね(笑)。まあ、スタート位置に戻ったって感じですね、あのへんでレースしていたと思うので、予選がうまくいっていたら、次はお休みです。また頑張ります」

中山雄一選手

今回のオートポリス戦を確実なものにする為に、チームで伸び悩みの原因になっていた車両の性質違いを払拭すべく車両入れ替えを行い挑み、サーキット入りしてからのセットアップは順調だったのですが、予選前に載せ替えたオーバーホール済みミッションにトラブルを抱えていてシフトミスを招く結果となってしまいました。メンテをする側としてはいかなるときもドライバーがベストを尽くせる環境作りをしなければと痛感しました。残りのラウンドは少ないですがその中でもベストを尽くせるように、できるものは全て新調して不安ゼロで挑んでいこうと思います。温かいご声援誠にありがとうございました。

チーフエンジニア
高橋雄大 (GR Garage つくば)



GR 86/BRZ Race Rd.3 参戦にあたり、ご支援・ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。テストを重ね、周到に準備を行いました結果に結び付ける事が出来ず非常に申し訳なく思います。今回の過程を再度検証し車両セットアップに反映させ、最終的に成果へと繋げたいと思います。第4戦は不参加となりますが準備期間と捉え、チーム力・結束力を高めるための期間として有効的な活用をしたいと考えています。引き続き応援を宜しくお願いいたします。

チーフメカニック
清水修 (GR Garage つくば)

